SG3関連の対処

1 研究対象

SG3は、「料金及び会計原則並びに国際電気通信・ICT の経済及び政策課題」を研究対象としている。

我が国からは、SG 副議長兼 WP1（課金、会計／精算メカニズム）議長として本堂恵利子氏（KDDI）、研究課題 I（モバイル金融サービスの経済的及び政策的問題）ラポータとして大槻芽美子氏（NTTドコモ）を選出している。

2 WTSА-24 に提出される勧告案

SG3から WTSА-24 に提出される勧告案は以下のとおり。

(1) ITU-T D.265 データサービスの料金規制に関する原則（研究課題 B）

公平なアクセスの確保や透明性のある料金設定など、各加盟国及び規制当局が考慮すべきデータサービスの料金規制の原則をとりまとめたもの。

(2) ITU-T D.1141 ビッグデータの文脈における、電気通信／ICT サービスに係るデータ保護の政策枠組み及び原則（研究課題 E）

ビッグデータ利用において、国際通信／ICT サービスに関わる個人情報（Personally Identifiable Information）の保護に関する原則をまとめたもの。

3 研究課題の見直し

SG3における次会期の研究課題案及びその対応案一覧を表 1 に示す。今会期は10件の研究課題があり、WTSА-24 において、9件の継続、1件の廃止となる計9件の研究課題が提案されている。次会期の研究課題案は、現在日本が支持している今期の既存研究課題からの大幅な変更がないことから、我が国としていずれも「支持」することが適当である。

勧告案を作成する方向で検討中の研究課題案は以下のとおりである。

(1) 小売衛星事業者 (retail satellite operator) が提供する高速インターネット接続の経済的・政策的側面（研究課題 C）

非静止衛星軌道システムを利用する小売衛星事業者（利用者向けにサービスを提供する衛星事業者。retail satellite operator）のサービス提供における経済的・会計的・規制の側面に関するガイダンスを作成するため、2024 年 7 月会合でワークアイテムが新設された。カメルーンが提案。本ガイダンスは、次会期に勧告案として作成する方向で検討されている。

(2) 大容量通信ネットワークの拡張と発展に向けた、OTT と電気通信事業者間のネットワーク費用負担に関するガイドライン（研究課題 F）

電気通信事業者と OTT サービスプロバイダーの間の潜在的な費用負担のあり方を示すガイドラインを作成するため、2024 年 7 月会合でワークアイテムが新設された。ザンビアが提案、多くのアフリカの国々等が支持表明。本ガイドラインは、次会期に勧告案として作成する方向で検討されている。

4 参考事項

SG3の会合は、今期3回（2022 年5月、2023 年3月、2024 年7月）開催され、すでに2件の勧告案（改訂）と 1 件の勧告廃止が郵便投票に付され、承認されている。今後、2件の勧告案（新規）が郵便投票に付され、WTSА-24 で承認される予定（その他、1 件の勧告 Appendix の作成あり）。

テクニカルレポートを作成する方向で検討中の研究課題案は以下のとおりである。

電気通信・ICT の計画・戦略において AI 原則を策定するためのガイドライン(研究課題 H)

各加盟国が電気通信や ICT に関する自国の計画・戦略において ITU の AI 原則を組み込むためのガイドラインを作成するため、2024 年 7 月会合でワークアイテムが新設された。本ガイドラインは、次会期にテクニカルレポートとして作成する方向で検討されている。

表 1 SG3 の次会期の研究課題案及び対応案

課題番号	課題名	概要	新規継続改訂削除	旧課題との関係	対応	備考
A	Development of charging and accounting/settlement mechanisms for current and future international telecommunication/ICT services and networks	課金及び計算/精算メカニズムの開発について研究するもの。	継続	旧研究課題1	支持	—
B	Study of economic and policy factors relevant to the efficient provision of international telecommunication services	国際電気通信サービスの効率的提供、経済的及び政策的要因について研究するもの。	継続	旧研究課題3	支持	—
C	International Internet fibre cables and satellite Internet connectivity including relevant aspects of Internet protocol (IP) peering, regional traffic exchange points, fibre cables optimization, cost of provision of services and impact of Internet protocol version 6 (IPv6) deployment	インターネットの展開及び接続について研究するもの。	継続	旧研究課題6	支持	—
D	International mobile roaming issues (including charging, accounting and settlement mechanisms and roaming at border areas)	国際移動通信ローミングに関する課題について研究するもの。	継続	旧研究課題7	支持	—
E	Economic aspects of alternative calling procedures in the context of international telecommunications/ICT services and networks	代替通話手順の経済的側面について研究するもの。	継続	旧研究課題8	支持	—
F	Economic and policy aspects of the Internet, convergence (services or infrastructure) and OTTs in the context of international telecommunication/ICT services and networks	OTT の経済的及び政策的側面について研究するもの。	継続	旧研究課題9	支持	
G	Competition policy and relevant market definitions related to the economic aspects of international telecommunication services and networks	競争政策および関連市場の定義について研究するもの。	継続	旧研究課題10	支持	
H	Economic and policy aspects of big data and digital identity in international telecommunications services and networks	ビッグデータ及びデジタルアイデンティティの経済的及び政策的側面について研究するもの。	継続	旧課題11	支持	

I	Economic and policy issues pertaining to international telecommunication/ICT services and networks that enable Mobile Financial Services (MFS)	モバイル金融サービスの経済的及び政策的問題について研究するもの。	継続	旧課題 12	支持	
	Regional studies for the development of cost models together with related economic and policy issues	コストモデル開発に向けた地域研究について研究するもの。	削除	旧課題 4	支持	今後 地域 会合 にて 対応